

手術あり患者の肺塞栓症の発生率

定義

肺塞栓症リスクの高い患者に対する、肺塞栓症の発生率(%)です。

算式

分子:危険因子手術を行い、かつ続発症として肺塞栓症を発症した患者数

分母:危険因子手術を行った患者数

当院の値(調査期間)

R1年度	0.10 % (年間)
H30年度	0.00 % (年間)
H29年度	0.10 % (年間)
H28年度	0.28 % (年間)

項目の解説

項目23-1「手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率」と同様に、肺塞栓症予防に対する病院全体の取り組みの結果を表現する指標です。対する病院全体の取り組みの結果を表現する指標です。なお、肺塞栓症の患者数は、診断やデータの精度によって影響を受け、過小評価となっている可能性があります。